

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～					
	施策	01 協働 –市民が主役の地域の輪づくりを推進します–					
重点プロジェクト		”オールふじみ野”まちづくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者				本橋 直人	
		評価日				令和4年4月18日	
関連課	全庁各課						
目標	市内で活躍する市民活動団体の主体性を尊重した支援と、大学や企業等との連携を図り、多世代にわたる市民に対し、相互交流や地域での実践につながる場を提供し、協働のまちづくりへの意識の醸成と人材の育成を推進します。また、自治組織などの活動を支える仕組みの充実を図ります。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 協働のまちづくりの推進</p> <p>○市民活動団体や関係機関等と連携を図り、協働のまちづくりへの意識が醸成されるよう、市民の学びの場づくり及び意識啓発と人材育成に取り組みます。</p> <p>○協働のまちづくりという視点に立つ行政運営を進めます。</p> <p>(2) 地縁活動や市民活動の支援</p> <p>○自治組織や市民活動団体の活動について、主体性を尊重した支援を推進します。</p> <p>(3) コミュニティ施設の整備</p> <p>○自治組織やNPO法人、ボランティア団体の活動拠点となるコミュニティ施設の計画的な整備と機能の充実を図ります。</p>						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	自治組織の加入率					
		説明	市内における自治組織の加入率。市民の協働によるまちづくりを推進する指標となるため。(指標の数値は累計)					
		単位	%					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	57.50	58.00	58.50	59.00	59.50	60.00
		実績値	54.00	51.50	49.50	47.90		
	指標 2	指標名	市民活動支援センターの登録団体数					
		説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会の創出を図る指標となるため。					
		単位	団体					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	125	130	135	140	145	150
		実績値	124	127	119	122		
	指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数					
		説明	市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数。協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標となるため。(なお、令和2年度末にコミュニティづくり推進連絡会が解散した。)					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300
		実績値	1,192	1,201	40	27		
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	131,810	114,054	114,641	137,453	156,632	
	人件費	38,054	47,047	52,263	55,418	60,320	
収入	特定財源	14,992	4,399	12,011	23,967	25,688	
	一般財源	154,872	156,702	154,893	168,904	191,264	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	自治組織の活動支援と加入促進	自治組織の様々な地域活動費や、活動拠点としての集会施設の維持管理費に対して補助金を交付した。また、自治組織連合会と共に未加入世帯を対象とした加入促進を行った。	市内58の自治組織がそれぞれの地域で、住み良いまちづくりに向けて防犯・防災・環境美化・コミュニティ推進などの事業を実施した。加入促進については厳しい結果が続いている。	自治組織活動等支援事業
取組②	市民活動交流会の開催	市民活動支援センターの登録団体を中心に企画市民会議を立ち上げ、1年をかけて交流会の企画・準備を行った。	新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、市民活動交流会は中止とした。登録団体の活動紹介の場として、市民活動展示会を開催し、110人の参加があった。	市民活動支援センター運営事業 (一部)
取組③	プラスワン講座の開催	講座名：実践！Zoomの使い方講座 開催日：2月18日（午前と午後の2回）	合計で11人の参加があり、コロナ禍での団体（個人）活動に役立つ知識を習得してもらうことができた。	市民活動支援センター運営事業 (一部)
取組④	協働のまちづくりフォーラムの開催	「SDGsって何だろう!」と題して、SDGsとはいったいどのような目標があり、なぜ必要とされているのかを市民に周知するための講演会をYouTubeにて配信した。	20人の市民が視聴し、SDGsについての基本的な情報や、必要性について周知することができた。	協働のまちづくり推進事業
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	協働のまちづくりについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて実施内容の見直し等を行いながら、市民との様々な協働の取組を展開することができた。しかし、実施している個々の事業は、その成果がすぐに現れることが難しいものが多く、市民の意識の変化や時代の流れに則した方策について、市民の意見を聞きながら常に見直ししていく必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		ゆめぼると運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 05財産管理費			
所管部課		市民生活部 市民総合窓口課		評価責任者	谷口 隆二
事務事業期間		平成30年度～（庁舎管理等事務(支所)から分割)		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立ゆめぼると条例 ふじみ野市立ゆめぼると条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	「ゆめぼると」は大井総合支所複合施設2階のスペースを、保健センターが使用しない日時に一般貸し出しするために設けられた、市民が集い交流し活動することを目的とした施設である。夜間や休日のホール等の貸出しに際し、適正な貸出管理と良好な環境衛生の維持を行うため管理人（業務従事者）2名体制で備品の貸出・返却、使用後の清掃等を行っている（利用時のみ、時間帯ごとの単価契約）。			
	事務事業の経緯	平成25年7月大井総合支所の新庁舎開設当初から、大井総合支所の2階を「ゆめぼると」として一般に貸し出ししている。貸し出し業務に伴う施設の管理や清掃等を業務委託している。			
	事務事業の概要	「ゆめぼると」内の多目的ホール・プレイルーム・A会議室・B会議室を時間帯ごとに有料で貸し出ししており、その貸出に伴う施設の管理等を業務委託している。			
	令和3年度の主な取組	令和3年度、夜間及び休日の貸出61件（午前1件・午後14件・夜間46件）について貸室（多目的ホール等）の管理業務を委託した。業務内容：使用備品の貸出し及び取扱い説明、利用者案内及び利用者からの問い合わせ対応、貸室使用後の清掃の実施、利用報告書の受領・確認等。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.25	0.25
		人件費	2,015	1,987	1,987
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	1,061	1,012	1,012
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,076	2,999	2,999	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	898	591	2,435	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		3,974	3,590	5,434	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	357	210	780
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,617	3,380	4,654	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		32	30	40	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ゆめぼるとの稼働率（多目的ホール）		
	説明	貸館施設である「ゆめぼると」を市民に有効活用してもらうため、建替工事中の大井中央公民館に情報提供し稼働率の上昇を目指す。 ただし、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症防止のため、前年度に引き続き一般団体への施設利用を休止したことにより稼働率の前年度割れが見込まれる。		
活動	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	24.00	33.00	33.00
	実績値	57.10	33.30	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和3年度の歳入【使用料】は210,200円、歳出【管理業務委託料】は572,678円、ゆめぼるとの稼働率は33.3%であった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の利用制限により稼働率が前年度（57.1%）より減少した。実績値は令和3年3月分を含まず。 なお、本施設は、保健センターが事業で利用しない日時にしか使用できない施設のため、稼働率が保健センターの事業の増減に左右されてしまう面がある。</p> <p>※令和2年度～ 稼働率の算出方法を見直した。</p> <p>【見直し前の算出方法】 $(稼働日) \div (利用可能日) \times 100$ 単位：％ *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた午前・午後・夜間の各時間帯における上記ホールの利用できる日数 *2稼働日：一般の各時間帯のホール利用日数（公用含む）</p> <p>【見直し後の算出方法】 $(稼働日) \div (利用可能日) \times 100$ 単位：％ *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた日数 *2稼働日：一般の利用日数（保健センター事業実施日との重複・公用利用含む） 時間帯別・部屋別の集計を取りやめた。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	人件費やそれに伴う事務費などの高騰が懸念されるなか、令和2年度以降、経費の削減を図るため「ゆめぼると管理業務委託」の仕様や契約方法などを見直し、効率的な管理運営を目指す。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		サービスセンターホール運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 08支所・出張所費			
所管部課		市民生活部 市民課		評価責任者	嶋田 恵子
事務事業期間		平成18年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の多種多様な活動を通して、市民相互の交流と地域社会の活性化を促進するため開設されたサービスセンターホールが安全・快適に利用できるよう、運営管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成18年5月、上福岡駅再開発事業によってココネ上福岡の2階にサービスセンターとして、多目的ホール及び会議室の貸館が開設された。駅前という好立地で利用目的を制限しない貸館であるため、現在ではコーラスサークル、コンサート、展示会、企業の研修など、市内・市外を問わず幅広く利用されている。			
	事務事業の概要	多目的ホール及び会議室を有料施設として広く一般に貸出しする。また、ホール・会議室内の設備・備品の保守、管理を行う。			
	令和3年度の主な取組	令和2年度にステージを常設設置したが、令和3年度はさらにポータブルステージ2台を購入し、大きく使いたい場合は広げられるようにした。また、剥がれている会議机の天板や壊れたキャスターを交換するなど、設備の充実及び保全を図った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.60
		人件費	4,029	3,974	4,769
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.00
		人件費	1,591	1,518	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,620	5,492	4,769	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	295	493	518	
	委託料	1,587	1,171	1,419	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	424	536	127		
支出合計		7,925	7,692	6,833	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,894	1,982	1,964
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,031	5,710	4,869	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		53	50	42	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用率について		
	説明	令和3年度前半は、夜間の利用制限などの規制が設けられたが、その後は夜間利用や飲食の制限もなくなったため、令和2年度よりも多少増加傾向がみられるものの、利用を自粛する利用者も多くコロナウイルス感染拡大以前に比べると低くなっている。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	49	45	45
	実績値	42	45	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業実施内容】
	<p>①サービスセンターホール・会議室管理・貸出 ホール・会議室の予約受付、使用料の徴収、貸出管理、清掃管理に関すること。</p> <p>②備品管理 ホール・会議室内のAV機器、マイク、プロジェクター、ピアノ、机、椅子など備品の取扱い、保守、修繕に関すること。</p> <p>【効果】</p> <p>利用者からは、駅前で利便性があり、利用目的に規制がないため気軽に借りることができると好評を得ており、サークル活動、自治組織の集まりや会社の内部会議、健康診断等まで幅広く利用されている。令和3年度もコロナウイルス感染拡大による利用取消が多く、使用料の還付が相次いだ。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	上福岡駅前で利便性が良く、利用目的を規制しない施設として評価を得ており、市民や市外からも幅広い利用がある。今後は経年劣化に伴う備品等の故障が目立ってきていることから、修繕を計画的に実施していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	協働のまちづくり推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	“オールふじみ野”まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間	平成21年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	地方自治法、ふじみ野市自治基本条例、ふじみ野市補助金等交付規則、ふじみ野市花いっぱい運動推進事業補助金交付要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	地方分権時代を迎え、自己決定・自己責任の原則に基づく地域経営を行っていくために、市民・市議会・市による協働の仕組みづくりを推進するとともに、事業の実施を通して、協働のまちづくりを進める上で重要となる市民の自治力の向上とその啓発を行い、もって地域振興に資することを目的とする。		
	事務事業の経緯	本事業は、まちづくりの基本となる市民の市政への参加と協働によるまちづくりの推進を図るため、平成21年度にスタートした。その前年には、文京学院大学との包括連携協定を締結するなど産学官連携のまちづくりを推進するとともに、市民との協働によるまちづくりを目指した事業を展開している。また、コミュニティ形成に係る事業は、旧市町で実施してきた経緯を受け継ぎ現在に至る。		
	事務事業の概要	自治の基本を定めた本市の自治基本条例が理念とする「参加と協働」を具体的に推進していくため、協働のまちづくり推進隊や講演会等の開催により、協働の在り方を研究していく。		
	令和3年度の主な取組	①協働のまちづくり推進隊（意見交換）の開催 ②協働のまちづくりフォーラム（協働のまちづくり講演会）の開催（※YouTube配信） ③包括連携協定先との事業の実施 ④ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 ⑤コミュニティ助成金交付事務 ⑥福岡河岸まつり実行委員会への活動支援（※新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ⑦部及び課の庶務全般		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.34	1.10	0.89
		人件費	2,740	8,743	7,074
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,740	8,743	7,074	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2	341	352	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	123	191	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	4,300	6,200	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	62	41	159		
支出合計		2,804	13,548	13,976	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	4,200	6,100
一般財源	2,804	9,348	7,876		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		24	82	68	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	協働のまちづくりフォーラムの回数		
	説明	協働のまちづくりフォーラムの実施による体現化をもって、本事業の目的実現への活動指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	協働のまちづくりフォーラムへの参加人数		
	説明	事業目的に対する市民の関心度や事業効果を反映するものとして、参加人数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	65	65	65
	実績値	33	20	
指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数		
	説明	協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標として、市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数を指標とする。(令和3年度開催実績：協働のまちづくり講演会参加人数20人、協働のまちづくり推進隊出席者数7人)		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	30	30	30
	実績値	40	27	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>(1) 協働のまちづくり推進隊（意見交換）の開催 市との協働事業経験者、公募者と協働のまちづくり推進隊（意見交換）を行った。 《内容》市民と市との協働事業に関する調査結果について</p> <p>(2) 協働のまちづくり講演会（フォーラム）の開催 《テーマ》「SDGsって何だろう!？」（※YouTube配信） 《日時》令和4年3月7日（月）～14日（月） 《講師》藤野 洋 氏（西武文理大学 サービス経営学部 教授） 《申込者数》 20人</p> <p>(3) 花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 《団体の活動内容》 ・ 定期総会（書面）、事例発表：1団体（※YouTube配信） ・ 花風景写真コンテスト 応募数：17件 表彰式：11月16日（火） ・ 花いっぱい運動コンクール 参加団体：一般の部4団体／小学校の部8校／中学校の部6校 現地審査：10月26日（火）、27日（水） 表彰式：11月16日（火） ・ 花栽培講座 日時：11月16日（火） 講師：有福 創 氏（ガーデンデザイナー）</p> <p>(4) コミュニティ助成金交付 一般財団法人自治総合センターの財源により、南台一丁目町内会へ助成金を交付した。地域防災組織育成助成事業では、西鶴ヶ岡町会防災組織委員会へ助成金を交付した（危機管理防災課所管）。 【効果】 協働のまちづくり講演会ではYouTube配信を試みるなど、事業の実施方法の幅を広げられた。また、補助金、助成金の交付を通じて、団体の支援を行うことができた。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	協働のまちづくりの推進を図るため、より多くの市民にまちづくりフォーラムの開催などを通して意識の向上を図る必要がある。その方策の一つとして、引き続き関心の高いテーマを選考し、フォーラムの参加者数の増及び内容の充実を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	自治組織活動等支援事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	“オールふじみ野”まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市自治組織の設置及び振興等に関する規則、ふじみ野市自治組織連合会補助金交付要綱、ふじみ野市自治組織運営等活動費補助金交付要綱 他			
事務事業の内容	事務事業の目的	・市内の自治組織が相互に連携し、地域の活性化と生活環境の改善を図り、もって地域社会の福祉の向上と住民自治の確立に寄与することを目的とする。 ・自治組織に補助金を交付することにより自治組織活動を支援し、住民自治の推進及び豊かな地域社会づくりを構築することを目的とする。		
	事務事業の経緯	本事業は、標記の目的を達成するため、平成17年度から現在に至るまで継続して実施している。開始当初から平成18年度までは各自治組織に「報償金」として支給していた。平成18年度の補助金見直し方針に則り、公益性・明確性を確保し、市と自治組織の対等な関係を維持するため、平成19年度以降は「補助金」として支出している。		
	事務事業の概要	以下に代表される事業活動を補助する。 【自治組織運営費補助、事業費補助及び集会施設維持管理費補助】 ①自治組織の運営費及び自治組織の事業費（加入促進事業含む）②自治組織集会施設の維持管理費 ③自治組織集会施設の建設費等 【ふじみ野市自治組織連合会補助】 ①自治組織相互の連絡調整と親睦を図ること②市及び関係機関との連絡調整に関すること③市及び関係機関に対する提言等に関すること		
	令和3年度の主な取組	①自治組織の運営費、事業費への補助 ②自治組織の集会施設維持管理費、修繕費への補助（自治組織所有のLED防犯灯の電気料補助含む） ③自治組織集会施設用地等賃借料、会議室等使用料への補助 ④ふじみ野市自治組織連合会への補助 ⑤ふじみ野市自治組織集会施設審議会の開催		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.65	1.53	1.68
		人件費	13,295	12,161	13,353
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	13,295	12,161	13,353	
事業費	報酬※	71	100	207	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,038	1,136	616	
	委託料	0	138	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	33,955	30,263	41,431	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	149	99	118		
	支出合計	48,508	43,895	55,725	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	5,029	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	1,164	188	4,720
		その他	19	21	23
	一般財源	42,296	43,686	50,982	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		369	382	437	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	防災防犯・環境美化・コミュニティ活動を実施している自治組織の割合		
	説明	自治組織の活動に対する補助の成果として、地縁コミュニティ活動が多方面で実施されていることを数値化する。※令和2年度から総会等の会議も事業実施の位置づけとした。 (58組織/58組織)		
活動	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	100.00	100.00	
指標 2	指標名	自治組織の加入率		
	説明	市民の協働によるまちづくりを推進する指標として、市内における自治組織の加入率を指標とする。 (指標の数値は累計)		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	58.50	59.00	59.50
	実績値	49.50	47.90	
指標 3	指標名	ふじみ野市自治組織連合会への自治組織の加入率		
	説明	ふじみ野市自治組織連合会の効率的かつ円滑な活動には、市内の全自治組織の加入が前提条件であるため、各自治組織の自治組織連合会への加入率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	<p>(1) 各自治組織の活動支援</p> <p>①自治組織補助金 29,862,476円 (内訳) 運営費15,474,450円、事業費5,943,386円、集会施設等維持管理費6,474,332円、集会施設修繕費(7団体)1,459,008円、集会施設用地等賃借料508,000円、会議室等使用料3,300円</p> <p>②自治組織連合会補助金 400,000円</p> <p>(2) 自治組織加入促進</p> <p>①市報及び市ホームページに加入促進のための記事を掲載(5月・11月)。</p> <p>②11月を「加入促進月間」と定め、自治組織連合会及び各自治組織と共に、未加入世帯への加入促進チラシを配付。</p> <p>③加入促進パンフレットを全戸配付(11月)及び転入世帯に配付(随時)。</p> <p>(3) ふじみ野市自治組織集会施設審議会 自治組織の集会施設に関する調査及び審議をするため、審議会を開催。 【第3回】令和3年11月9日(火)13時30分～ 現地視察 【第4回】令和3年11月30日(火)13時30分～ 現地視察 【第5回】令和4年2月8日(火)13時～ 現地視察を踏まえた意見交換 諮問内容…自治組織の活動拠点として使用している集会施設の管理・運営方法の方針案について ⇒令和4年度答申予定</p> <p>【効果】 補助金の交付を通じて、自治組織の地域活動を支援することができた。また、自治組織連合会と協力しながら、加入促進チラシを作成、配布した。 集会施設審議会では、計10か所の現地視察を行い、活発な意見交換の実施に繋げることができた。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	自治組織は市内全域を網羅する団体である。平時及び非常時においても地域住民のために力を注ぐ、地域活動の根幹を成す団体でもある。その団体の活動を支援することで、より活力に満ちた地域を築くことが期待できる。
中長期的方向性	
拡充	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	市民活動支援センター運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信	
事務事業期間	平成18年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市立市民活動支援センター条例、ふじみ野市立市民活動支援センター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とした施設の管理運営を行い、市民活動体制の相談及び支援体制を構築する。		
	事務事業の経緯	市内で活動する市民活動団体やNPOを支援し、将来的にはまちづくりの担い手になる団体への活動支援、情報の交換・提供を図ることができる市民活動の拠点を設置する必要があったため、平成18年5月に開所した。		
	事務事業の概要	コーディネーターによる市民活動に関する相談や情報提供、活動に資する講座の開催のほか、地域課題の解決に結び付けていくための団体育成を行う。市民の企画により団体同士の交流の場を設け、地域力の向上を図る。		
	令和3年度の主な取組	①市民活動への支援 市民活動の更なる活性化に向けて、コーディネーターによる市民活動に関する相談・支援や市民活動に関する情報収集・提供を行った。 ②研修講座の開催 市民活動団体をサポートするため、研修講座（プラスワン講座）を開催した。 ③市民活動展示会の開催 市民活動交流会は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて中止とした。 市民団体の活動紹介の場として、市役所本庁舎1階ギャラリーで市民活動展示会を開催した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.47	0.42	0.47
		人件費	3,787	3,339	3,736
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.25	1.20	1.48
	人件費	3,762	3,605	4,940	
	人件費計	7,549	6,944	8,676	
事業費	報酬※	2,853	2,744	3,511	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	214	180	278	
	委託料	2,798	2,798	3,313	
	使用料及び賃借料	1,651	177	240	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	24	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,131	1,028	1,688		
	支出合計	12,433	10,265	12,790	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	6	47	62
	一般財源	12,427	10,218	12,728	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		108	89	109	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民活動支援センターの登録団体数		
	説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会創出を図るため、登録団体数を活動指標とする。 ※平成18年度から事業実施 ※指標の数値は年度末の団体登録数		
活動	単位	団体		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	135	140	145
	実績値	119	122	
指標 2	指標名	相談件数		
	説明	市民活動団体や個人から、活動内容や運営方法などの相談を受けた件数を活動指標とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	300	300	180
	実績値	179	168	
指標 3	指標名	市民活動交流会の参加人数		
	説明	市民活動団体同士やこれから市民活動を始めたい個人の交流の機会を提供する場である市民活動交流会への参加者数を成果目標とする。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により市民活動交流会は中止とした為、実績値は市民活動展示会の来場者数。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	900	900	900
	実績値	150	110	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>①市民活動展示会2022</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時：令和4年1月31日(月)～2月4日(金) 午前9時～午後5時 ※1月31日(月)正午～午後5時、2月4日(金)午前9時～午後3時 場所：市役所本庁舎1階ギャラリー 企画運営：市民活動交流会企画市民会議及び市民活動支援センター 催事内容：市民団体の活動紹介展示及び市民活動支援センターの登録団体紹介展示 内容：市民活動団体の紹介と市民活動団体の輪が広がることを目的に開催した。 来場者数：110人 <p>②市民活動団体サポート「プラスワン講座」</p> <p>○プラスワン講座～「実践！Zoomの使い方講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時：令和4年2月18日(金)①午前10時～午前11時半 ②午後2時～午後3時半 場所：ステラ・イースト 多目的ホールA 内容：コロナ渦での団体(個人)活動のコミュニケーションツールとしてZoomの使い方を学ぶ講座を実践形式で開催した。 参加者数：11人 <p>【効果】</p> <p>市民活動交流会の企画市民会議では、開催方法の検討に時間を掛けて、様々な意見を交わすことが出来た。また、市民活動展示会は、昨年の経験を踏まえ、より見やすいレイアウトとすることができた。プラスワン講座では、出前講座を活用して、市の職員が講師となって開催した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	新型コロナウイルスの影響により、市民活動の実施が困難な状況が続いたが、市民活動展示会やプラスワン講座に参加された団体、来場された方のアンケートから、活動の意欲が見受けられた。また、コロナ渦でも感染対策を講じながら市民活動を実施する団体があるなど、活動手段の工夫も見られた。引き続き、市民活動支援センターから各種イベントの企画、情報発信を行うとともに、市民活動支援センターの効率的な運営を進めながら、市民団体の活性化に向けた支援を行っていく。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		おおい祭り事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成13年～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		おおい祭り補助金交付要綱、ふじみ野市補助金等交付規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	本祭りは、市民、特に将来を担う子どもたちのふるさと意識の醸成を図るとともに、市民融和を目的に実施している。			
	事務事業の経緯	旧大井町においては、各地域で祭りが開催されていたが、町全体をあげての祭りはなかったため、標記の目的を達成するために地域の祭りを一堂に会し、総合的なふるさとの祭りをつくろうと開催したことに始まり、その後、実行委員会方式により実施され、現在に至っている。			
	事務事業の概要	おおい祭りの開催に向けた準備として、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当するとともに、祭りの開催に要する費用の一部を補助している。			
	令和3年度の主な取組	おおい祭りの開催にあたり、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当した。 (おおい祭り自体は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ※会議、部会のみ開催)			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.81	0.40	0.81
		人件費	6,527	3,180	6,438
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,527	3,180	6,438	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	242	0	10,550	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		6,769	3,180	16,988	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,769	3,180	16,988	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		59	28	146	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	祭りの開催		
	説明	市民のコミュニティの場となるため、開催を活動指標とする。 ⇒令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	広報活動の回数		
	説明	市全体に開催を周知する機会提供として、広報活動を指標とする。 ⇒令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	20	20	20
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	来場者数		
	説明	周知・広報活動の結果として、来場者数を指標とする。 ⇒令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	75,000	75,000	75,000
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、おおい祭り自体が中止となった。しかし、開催に向けて以下の会議を実施した。</p> <p>【会議等】</p> <table> <tbody> <tr><td>総会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>役員会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>全体会議</td><td>2回</td></tr> <tr><td>運営委員会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>総務・保安・設営部会</td><td>開催なし</td></tr> <tr><td>ステージ部会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>ストリート部会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>模擬店部会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>子ども・青年部会</td><td>1回</td></tr> </tbody> </table> <p>※会計監査は令和4年1月19日に実施</p> <p>【協賛金・チラシ広告募集】 おおい祭り自体が中止となったため、募集なし</p>	総会	2回	役員会	2回	全体会議	2回	運営委員会	1回	総務・保安・設営部会	開催なし	ステージ部会	1回	ストリート部会	1回	模擬店部会	1回	子ども・青年部会	1回
総会	2回																		
役員会	2回																		
全体会議	2回																		
運営委員会	1回																		
総務・保安・設営部会	開催なし																		
ステージ部会	1回																		
ストリート部会	1回																		
模擬店部会	1回																		
子ども・青年部会	1回																		

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	引き続き、安全・安心に来場者が楽しめる祭り運営を補助し、市民のふるさと意識やコミュニティの醸成を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		旭ふれあいセンター管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成6年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを進めることを目的とする。			
	事務事業の経緯	・平成6年7月に開館。 ・平成24年度から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和3年度の主な取組	・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策（館内清掃及び消毒の徹底、据置型非接触式体温計の更新）を実施した。 ・自治組織や施設利用者と施設の利用方法やイベントについての意見交換を行う「地域懇談会」を令和3年6月に開催した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.33	0.39	0.43
		人件費	2,659	3,100	3,418
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.07	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,659	3,100	3,418	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	2,461	
	委託料	7,153	7,318	7,658	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4	4	4		
支出合計		9,816	10,422	13,541	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	2	2	2
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	31	0
一般財源		9,814	10,389	13,539	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		86	91	116	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	308	308	308
	実績値	254	308	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、15,000人から8,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	15,000	8,000	10,000
	実績値	5,477	9,755	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	33.50	42.80	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月24日までは、政府対策本部による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等、埼玉県における段階的緩和措置等に基づく協力要請により、利用制限を設けた。令和3年10月25日以降は、利用制限を解除し、「公共施設利用における基本方針」を利用者に遵守して頂き、貸出しをしている。 指定管理者と連絡を密に取り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントの実施 旭ふれあい卓球広場（月1～2回、延べ36人参加）、旭ふれあい寄席（15人参加）、旭ふれあい作品展（3日間で延べ100人来館）、旭新春コンサート（44人参加） 利便性の向上 飲料自販機を設置（令和3年7月）、室内換気対策用扇風機を3台導入（令和3年8月）、貸出備品に卓球ネットを追加（令和3年9月） <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施：なし 指定管理者：天井照明調光スイッチ改良修繕、壁腰板金属モール緩衝材設置、エレベーター機能維持修繕、換気用網戸設置 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	建築から27年が経過し、経年劣化による不具合が生じている設備が散見されていることから、計画的な設備修繕を実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		鶴ヶ岡コミュニティセンター管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費					
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成20年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市立鶴ヶ岡複合施設条例、ふじみ野市立鶴ヶ岡複合施設条例施行規則、ふじみ野市立鶴ヶ岡コミュニティセンター及びふじみ野市立大井中央公民館鶴ヶ岡分館の区分並びに管理に関する規則					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図ることにより、住みよい地域社会づくりを推進し、もって福祉の増進と文化の向上に寄与することを目的とする。			
	事務事業の経緯	・平成20年5月に開館。 ・設置当初から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 ①研修室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理（複合施設としての建物の維持管理（鶴ヶ岡分館）も含む）			
	令和3年度の主な取組	・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策（館内清掃及び消毒の徹底、据置型非接触式体温計の更新）を実施した。 ・令和3年5月1日（8月利用分）の予約から公共施設予約システムを用いた抽選を導入した。 ・自治組織や施設利用者と施設の利用方法やイベントについての意見交換を行う「地域懇談会」を令和3年6月に開催した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.33	0.37	0.39
		人件費	2,659	2,941	3,100
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.07	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,659	2,941	3,100	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	15,418	15,826	15,926	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	6	6	7		
支出合計		18,083	18,773	19,033	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	3	7	7
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	684	0
一般財源		18,080	18,082	19,026	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		158	158	163	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	308	308	308
	実績値	254	308	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、28,000人から18,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	28,000	18,000	22,000
	実績値	12,217	18,463	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	70.00	70.00	70.00
	実績値	48.90	60.50	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 公益社団法人入間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月24日までは、政府対策本部による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等、埼玉県における段階的緩和措置等に基づく協力要請により、利用制限を設けた。令和3年10月25日以降は、利用制限を解除し、「公共施設利用における基本方針」を利用者に遵守して頂き、貸出しをしている。 指定管理者と連絡を密に取り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントの実施 囲碁将棋の会（毎週木曜日開催、延べ420人）、鶴ヶ岡寄席（2回、延べ51人）、七夕飾り（7日間）、心に響く童謡・愛唱歌講座（全5回、延べ62人）、秋の歌音楽会（32人）、クリスマスコンサート（32人）、笑の講演会（16人） 利便性の向上 「地域懇談会」を令和3年6月に開催、「笑顔であいさつ運動」を開始、「施設パンフレット」を改訂 <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施：なし 指定管理者：事務室空調機修繕、鶴ヶ岡分館集会室A空調機修繕、ワイヤレスマイク等の更新、エレベーターディスプレイ修繕、換気扇・吸気口清掃 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は指定期間5年間のうちの2年目であった。施設が竣工からの期間が浅いことから、近年まで大きな不具合は確認されていない。しかし、竣工から10年を経過し、今後は老朽化による不具合が発生する可能性があるため、日常的に施設の老朽化に目を向ける必要がある。指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民交流プラザ管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費					
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成12年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市立市民交流プラザ条例、ふじみ野市立市民交流プラザ条例施行規則					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の幅広い活動と人とのふれあいや世代間の交流などの様々な市民交流活動を通じて、活力ある地域社会づくりを進める。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年5月に開館。 ・平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策（館内清掃及び消毒の徹底、アルコールディスペンサー付き据置型非接触式体温計の設置）を実施した。 ・建物付属設備等の修繕（フクトピア内トイレ便座交換修繕、フクトピア構内電話交換設備等修繕、チラー熱交換器前蓋交換修繕、空冷チラー部品交換修繕）を実施。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.33	0.40	0.44
		人件費	2,659	3,180	3,498
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.07	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,659	3,180	3,498	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	11,121	0	
	委託料	35,358	35,176	48,591	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	70	477	71		
支出合計		38,086	49,954	52,160	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	259	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	304	334	145
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	10,184
		その他	0	0	0
一般財源		37,523	49,620	41,831	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		328	434	359	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定（平成25年6月から祝日も開館）		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	354	359	359
	実績値	296	355	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、114,000人から56,000人に下方修正する。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	114,000	56,000	70,000
	実績値	38,335	64,606	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、75%から60%に下方修正する。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	75.00	60.00	70.00
	実績値	53.70	55.20	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月24日までは、政府対策本部による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等、埼玉県における段階的緩和措置等に基づく協力要請により、利用制限を設けた。令和3年10月25日以降は、利用制限を解除し、「公共施設利用における基本方針」を利用者に遵守して頂き、貸出しをしている。 指定管理者と連絡を密に取り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業 ※数値は、コスモスホール開催分も合算 武道系（空手等）、体操系（ヨガ教室等）、語学系（英会話等）、文科系（音感トレーニング等）、イベント合計全36種の教室・イベントを実施した。開講数合計：982回 延べ参加人数：8,085人</p> <p>◎施設修繕・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 市実施：フクトピア内トイレ便座交換修繕(946,000円)、フクトピア構内電話交換設備等修繕(5,170,000円)、チラー熱交換器前蓋交換修繕(1,925,000円)、空冷チラー部品交換修繕(3,080,000円) 指定管理者実施：フクトピア内照明のLED化修繕、保健センター側内側自動ドア修繕、児童センター工作室室内水漏修繕、円形ベンチ補修、児童センター遊戯室雨漏り修繕等 <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は指定期間5年間のうちの3年目であった。竣工から20年が経過し、経年劣化による設備不良が散見されている。空調機関連の不具合が多発していることから、空調機修繕を中心に修繕を行っていく。指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コスモスホール管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成11年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の文化活動及び余暇活動その他の市民活動の促進を図り、市民福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年7月に開館。 ・平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①多目的ホールの貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、館内清掃及び消毒を徹底した。 ・空調機更新工事（空調機をGHP4台からGHP2台・EHP2台に更新、照明のLED化及び天井の張替）を実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.40	0.43
		人件費	2,820	3,180	3,418
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.07	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,820	3,180	3,418	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	3,553	2,740	2,269	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	14,080	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	26	0		
支出合計		6,373	20,026	5,687	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	17	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1	1	1
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	10,600	0
		基金	1,320	3,975	0
		その他	1,053	1,053	1,053
一般財源	3,982	4,397	4,633		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		35	38	40	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	334	335	335
	実績値	278	277	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、13,000人から5,000人に下方修正をする。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	13,000	5,000	7,000
	実績値	3,814	6,432	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、80%から50%に下方修正をする。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	80.00	50.00	60.00
	実績値	42.10	45.00	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告にて施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月24日までは、政府対策本部による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等、埼玉県における段階的緩和措置等に基づく協力要請により、利用制限を設けた。令和3年10月25日以降は、利用制限を解除し、「公共施設利用における基本方針」を利用者に遵守して頂き、貸出しをしている。 指定管理者と連絡を密に取り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 <p>◎自主事業 土曜太極拳を実施。</p> <p>◎施設修繕・改善 市実施：空調機更新工事 14,080,000円 指定管理者実施：ふじみ野市商工会館外部階段漏水修繕（一部費用負担）</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は指定期間5年間のうちの3年目であった。指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		うれし野まちづくり会館管理運営事業		前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法第237条、地方財政法第8条、ふじみ野市財産規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	うれし野まちづくり会館の適正な維持管理を図る。			
	事務事業の経緯	当該会館の施設管理業務は、平成21年度は福祉部、平成22年度から平成26年度は資産管理課が行っており、平成27年度に協働推進課に移管された。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の管理運営 ・2階部分のNPO法人等への貸付業務 ・3階部分の市民への貸出業務（集会室・和室） 			
	令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の修繕を実施（給水ユニット基板交換修繕、屋上破損部分の補修及びコーキング修繕、受水槽室排水ポンプ用電極交換修繕、非常用照明バッテリー等交換修繕、水道管漏水修理） ・令和3年10月24日までは利用制限を設けて貸出しをしていたが、令和3年10月25日からは制限を解除し、「公共施設利用における基本的方針」に沿って貸出しをした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、除菌セットを用意し、利用者に施設利用後の除菌の徹底をお願いした。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.33	0.44	0.45
		人件費	2,659	3,498	3,577
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.07	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,659	3,498	3,577	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,767	1,416	2,737	
	委託料	6,531	6,439	8,280	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	176	172	191		
支出合計		12,134	11,526	14,785	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	583	632	647
一般財源		11,551	10,894	14,138	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		101	95	121	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	安全で適正に開館した日数を活動指標として設定		
活動	単位	日		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	356	356	356
	実績値	202	239	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図るため、年間利用人数を成果としてとらえる。令和3年度目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、3,500人から900人に下方修正をする。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	3,500	900	1,200
	実績値	416	831	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果としてとらえる。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の利用制限を適用しているため、目標値は13%から35%に修正をする。令和3年10月24日まで利用制限を設けており、コロナ禍以前よりも稼働率が高くなった。実利用コマ数÷利用可能コマ数=117コマ÷478コマ≒24.48%		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	13.00	35.00	40.00
	実績値	30.34	24.48	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>◎3階地域開放部分：施設利用に係る受付事務を実施。 令和3年4月1日～令和3年10月24日…日中は利用制限付きで貸出しを行い、夜間は貸出しを中止した。令和3年10月25日以降…「公共施設利用における基本的方針」に沿って貸出しをしている。 ※令和3年10月25日以前の制限 利用可能人数に制限を設け、月・水・金の午前清掃後、次の清掃までの間に1団体のみ使用可能</p> <p>◎施設管理による休館 令和3年6月1日、令和3年9月7日、令和4年3月1日</p> <p>◎2階NPOベース：2団体に貸出しを実施。 ・NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会 ・NPO法人ふじみ野市学童保育の会</p> <p>◎修繕 ・給水ユニット基板交換修繕 163,900円 ・屋上破損部分の補修及びコーキング修繕 66,550円 ・受水槽室排水ポンプ用電極交換修繕 36,300円 ・非常用照明バッテリー等交換修繕 99,550円 ・水道管漏水修理 145,244円</p>
	【効果】
	利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	施設竣工より25年以上が経過し、老朽化による不具合が散見されており、適切な管理に努めていく。また、施設の利活用とともに、施設自体の在り方も検討していく。
中長期的方向性	
縮小	